

## 第 39 号

編集・発行

富士見市日中友好協会

富士見市鶴瀬西

2-8-8-601

(049) 251-5604

<http://www.jc-sf.com/>

# 平和な世界求め、夢と希望の未来に向かって

富士見市日中友好協会 会長 岩本 喜直

1年前の前号では「新型コロナ禍の1年を振り返って」と題してご挨拶を申し上げ、今年度はコロナ禍も終焉し明るい1年を迎えられると思っていました。ところが新型コロナウイルスの変異株が次々現われ、この原稿を書いている2021年12月には新しくオミクロン株が出て来て、従来株よりも感染力が格段に強く世界中に蔓延が始まっています。日本では従来株による感染が相当下火になり社会活動を徐々に回復する機運が高まっていたのですが、オミクロン株を含む変異株への対策があらためて余儀なくされています。感染予防の徹底を図り、早く克服、終焉を迎えたいものです。

さて、2021年は1年延期の東京オリンピック、パラリンピックが開催されました。激しいコロナ感染蔓延下の開催ですから、無観客試合、競技参加者や関係者の大幅な行動制限という異例の大会でした。折角の平和のシンボルでもあるオリンピック・パラリンピックなので、もっとオープンな大会を誰しも願いましたし、多くの来日者との交流を通して世界平和交流を期待しましたが、計画倒れになってしまったことは残念でしたが、結果的には次善の大会であったのではないかと私は個人的には思います。2022年は2月4日から20日まで中国北京と河北省張家口で冬季オリンピックが、またひと月遅れの3月4日から13日まで北京で冬季パラリンピックが開催されます。このご挨拶がみなさまに届く頃は、このスポーツ祭典の真っ最中になりますが、成功裏に開催され、五輪が目標として掲げている「平和でより良い世界」への貢献を願ってやみません。

2021年は、中国東北部で日本軍が起こした柳条湖事件から90年の節目の年でした。そしてその後の満州事変、日中全面戦争、80年前のハワイ真珠湾攻撃からアジア・太平洋戦争に拡大し、敗戦と戦後のどん底社会へと繋がってしまいました。

平和で明るい世界をみなさんと共に求めて参りたい、若いみなさんに夢と希望の未来を創ることに精進したいと、今あらためて思います。引き続き富士見市日中友好協会への変わらぬご支援、ご協力をお願いします。

## 上陽小が閉校状態に

1999年に開校して以来20年以上にわたって市内小学生との交流を続けてきた富士見・上陽希望小学校が昨年9月から閉校状態となっています。学校に通う子どもが極端に少なくなってしまうことによるもので、村の子どもたちは寄宿舎がある豆村鎮の学校に通学中です。

上陽小学校は当協会が1998年に建設資金の募金にとりくみ、さまざまな技能を持った村民の労働奉仕によって建設されたものです。

上陽小学校の閉校によって中断を余儀なくされた小学生同士の交流については、現在、新たな学校の選定を含めて、山西省側の窓口である人民対外友好協会と協議中です。この記事をお読みいただく頃は、新たな交流が始まっていることでしょう。

# 中国残留孤児支援の記録集を発行

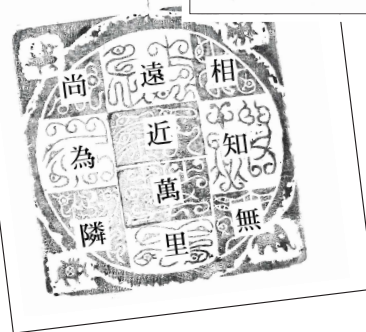
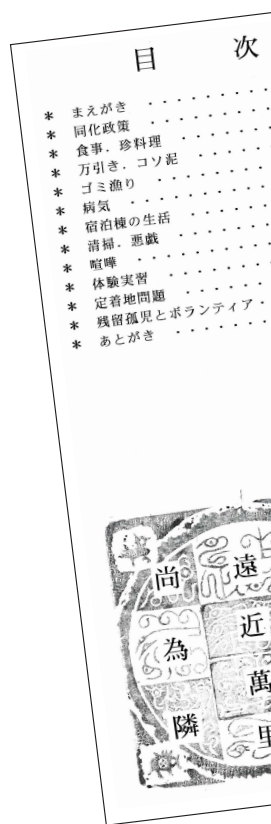
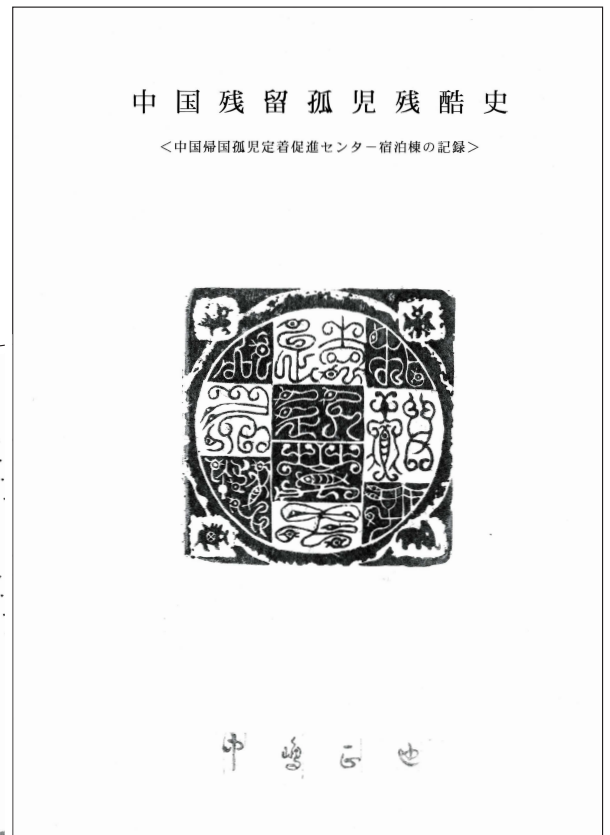
2021年8月1日(日)

当協会の中島正也事務局長が昨年、冊子「中国残留孤児残酷史<中国帰国孤児定着促進センター宿泊棟の記録>」を発行されました。2年間にわたり当協会のホームページに連載してきたものをまとめました。

1945年、米国による広島、長崎への原爆投下、ヤルタ会談の合意に基づきソ連が日ソ中立条約を破棄して参戦したことなどを機に日本はポツダム宣言（英チャーチル首相、中華民国国民政府の蒋介石主席、米トルーマン大統領による日本への降伏要求の最終宣言）を受諾、9月12日に調印して無条件降伏を正式に認めました。そして翌1946年から「外地」にいる邦人の集団引き揚げ事業が始まりましたが、1958年、「ほぼ完了した」として事業は打ち切られました。

ところが実際には帰国できずにいた人が多数いたのです。1972年の日中国交正常化を機に、すでに帰国していた肉親らは中国に残留させた子供や兄弟の消息を求めて運動を始めます。そして様々な困難を乗り越え、1981年3月に初めて「残留孤児訪日調査団」47人が肉親との血縁関係確認のために訪日しました。こうした粘り強い運動の結果、日本政府も「残りの人生を祖国で送りたい」という帰国希望者を受け入れることとなります。1984年、戦争が終わってからすでに40年の歳月が流れようとしていたのです。

40年も中国人として生きてきた彼らが円滑に日本での生活に溶け込めるよう、1985年12月、埼玉県所沢市に「中国残留孤児定着促進センター」が開設されます。中島事務局長は1987年から2003年3月までの15年間、宿泊棟の生活指導員として活動されました。その間の日常起こった多くの生々しい出来事を記録としてまとめられたのが、この冊子「残酷史」です。実際に中に居た者でなければ知りえない事実ばかりであり、このようなにわかには信じがたい出来事があったのかという生の実態が見えてきます。これをお読みいただくことで、何が「残酷」なのか、



なぜ著者が「残酷史」と名づけたのか、お分かりいただけることでしょう。

著者はあとがきで次のように述べています。

この不条理が二度とあってはならない。  
先の日中戦争は「間違いだった」これを言い続けなければ、残留孤児は浮かばれない。

これこそが、著者が長い年月をかけて理解した「歴史の真実」であり著者自身の信念ではないでしょうか。

冊子にご興味のある方は富士見市日中友好協会までお問合せ頂ければ幸いです。

# 2021ピースフェスティバル

## 「地球はひとつ ～つなごう非核・平和のバトン～」

2021年7月10日(土)～8月24日(火) 市内各所

2021ピースフェスティバルは何とか開催できたものの、例年と違い約1か月半にわたって舞台発表、作品展示、小学生のピースカードメッセージの展示などが鶴瀬公民館を中心に市立中央図書館や市内各所の公民館、コミュニティセンターなどで開催されました。



そのうち8月11日(水)～22日(日)の中央図書館では文芸作品の発表や絵画、写真、書など、市民による作品展示が行われました。中島正也事務局長の篆刻作品は独創的であり、来場者の注目を集めていました。

## 第42回中国語スピーチコンテスト

2021年10月17日(日) NPO法人埼玉県日本中国友好協会主催

～「初挑戦の枳根(けんのき)秀樹さんが埼玉新聞社長賞」～

第42回埼玉県日中友好協会中国語スピーチコンテストに当協会会員の枳根(けんのき)秀樹さんが参加され、大勢の中から見事、埼玉新聞社長賞を受賞されました。

枳根さんは2019年6月、柳瀬川駅近くの中国語教室に入室。わずか2年4か月での快挙です。審査委員は「素晴らしい発音でのスピーチで、初挑戦にしては落ち着いて堂々とお話をされた」と受賞を称えました。

10月26日には鶴瀬西交流センターでの当協会の中国語教室で受賞されたスピーチを披露していただきました。参加した受講生からは「素晴らしい内容のお話をお聞きすることができて今後の中国語学習の刺激となった」と絶賛の声が上がりました。



表彰を受ける枳根さん(左)



## 山西省で史上稀にみる豪雨 水害復興義援金を送る

2021年10月10日中国山西省において大規模な洪水が発生しました。各種報道及び山西省人民対外友好協会の情報では、山西省の中央部を北から南に流れる汾河が下流部で大氾濫、175万人以上の人々が大きな被害を受け、倒壊した家屋は3万軒以上、農地の冠水による収穫直前の農作物の被害で悲嘆にくれる農家も多いとか…。その他、各所で豪雨による道路の損傷、崖崩れ、堤防の決壊が発生し、炭坑や省南部の文化遺産の多くが被害を受けたようです。

埼玉県と友好県省の関係にある山西省の被害に対し埼玉県日中友好協会は急遽「山西省水害復興義援金」の募集に取り組みました。富士見市日中友好協会もその趣旨に賛同して協力しました。



## 富士見市日中友好協会中国語教室 ～日中文化交流講座～

### 日々の進歩に喜びを感じて

小島 やよい

富士見市日中友好協会で中国語を学び始めて2年半が経ちます。この講座で中国の文化や中国語に初めて触れることになりました。当初は早く話せるようになりたい、読めるようになりたい気持ちが強くいろいろな参考書を読んだり、侯先生から借りた絵本を訳したりしましたが、中国語を理解するのが難しかったです。

コロナのため、二度の非常事態宣言で休講が続きました。休講中は練習問題を見直したりテレビドラマを見たりして過ごしました。そんな中でもテキスト「はじめの一步」を終了することができました。講座が再開され、先生や同級生と顔を合わせて会話をしながら学ぶ楽しさをあらためて感じました。

自主学習では絵本を見直したりテレビドラマを見る中で「言葉を聞いたことがある」「この文章テキストに出ていたね!」と思い、少し中国語への理解ができてきたかなという気持ちになりました。

まだまだ、文章を間違えて作ってしまったり、会話が聞き取れないことも多くありますが、一步一步学んで行きたいと思っています。そしてコロナが収束しましたら中国に遊びに行きたいと思っています。

### 日中文化交流講座

中国語を学びながら、日本と中国の文化を考えます。

中国語初挑戦の方、大歓迎!!

日 時	月3回(火曜日) ◇ 2022年度は4月5日(火) 開講 入門クラス 午後5:00～6:45 初級クラス 午後7:00～8:45
会 場	富士見市立鶴瀬西交流センター
会 費	月 4,000円
入会金	2,500円(日中会員は不要)

コーディネーター 侯紅葉さん

お問合せ 田口 (049-254-5762)